

平成 24 年度 研究成果報告書

2012 Research Achievement Report

| | |
|----------------------------------|--------------|
| 講座名・職名 Course Title・Job Title | 日本語日本文化講座・教授 |
| 氏名 Name | 三原健一 |
| 専門分野 Academic Field | 言語学 |

| | |
|--|-----------------|
| 主たる研究テーマ Principal Research subject | 日本語の動詞体系：活用とテンス |
| <p>生成文法理論における Cartography の枠組みを用いた、日本語の動詞体系の研究に関して、本年度は以下の研究成果を公表した。なお、テンスに関しては来年度公表の予定。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 編著書『活用論の frontline』を、くろしお出版から仁田義雄氏との共編として、2012 年 11 月に刊行した。序 (i-iv) + 本論 216 頁(2) 研究論文「活用形から見る日本語の条件節」を、三原・仁田 (編)『活用論の frontline』(くろしお出版) 所載論文として刊行した。pp.115-151(3) 研究論文「地図製作計画における日本語の命令文」を、大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻 (編)『日本語・日本文化研究』第 22 号に、榎原実香氏との共著として 2012 年 12 月に刊行した。pp.1-16 | |